

2008年12月

早稲田大学
文化構想学部

文化構想学部夜間特別枠入学試験の廃止について

早稲田大学文化構想学部は、2007年度の学部新設当初より「夜間特別枠」という入学試験制度（学部定員860名中の40名）を設けてまいりました。これは、第二文学部が従来担ってきた、主に社会人を対象とした夜間における学修の可能性、とりわけ教職免許状の取得や社会福祉士国家試験の受験資格取得に関する教育課程の提供という社会的役割を継承するものとして、夜間（6・7時限）に設置されている科目のみの履修で、四年間で卒業することを可能にする受入枠です。

しかしながら、実際の入学者は必ずしも資格取得を志向しているとは限らず、多様な志向をもって入学してきていることが徐々に明らかとなってまいりました。文化構想学部の科目として提供されている700科目以上のブリッジ（講義）科目群や専門性の高い演習科目・ゼミなどを、夜間の二時限のみという限られた授業時間帯で、かつ多様化・細分化した個別学生のニーズに対応した形で提供することは、現実には極めて困難な状況となっております。

夜間特別枠による入学者には夜間科目のみならず昼間科目の履修希望も強いとするアンケート結果も得られており、また実際に志願者数も減少傾向を示しております。こうした傾向は、社会人の勤務状況が多様化し、夜間のみの履修という条件が社会の実態に合わなくなっていること、社会人向け学士課程段階の教育プログラムがe-learningなど多様な履修形態を有するものへと転換しつつあることを示唆しているものとも思われます。

以上の状況を踏まえ、幾度に渡る議論の結果、文学学術院教授会は本制度の維持に無理があるのではないかと判断するに至り、文化構想学部の夜間特別枠入試を2010年度入試より廃止することを決定いたしました。なお、2009年度までの夜間特別枠入試による入学者については、その履修に不利がないよう、十分な配慮を行なうことを教授会において確認しております。また学部定員に変更はありません。

以 上